

## 横浜スマートシティプロジェクト(YSCP)



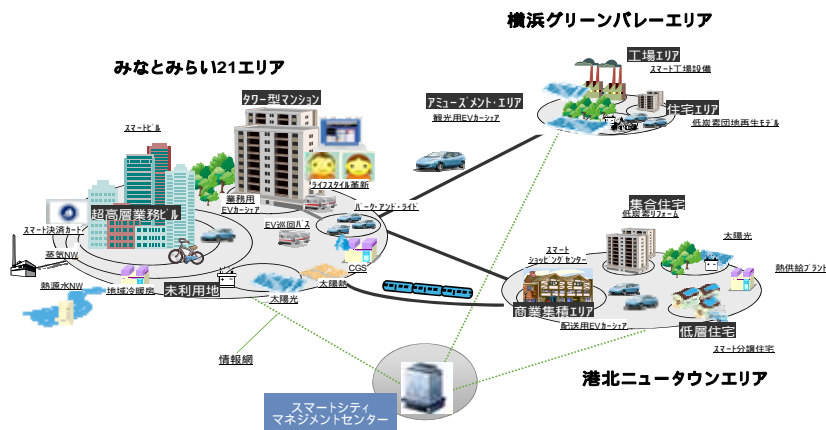
- ・経済産業省の「次世代エネルギー・社会システム実証地域」に選定(H22.4)
- ・選定された4地域(横浜、豊田、京都、北九州)が、5年間の実証実験を行う。

### スマートグリッドに基づく新しい社会システムの構築

“英知を結集させ 横浜で構築し 海外へ展開する”



## YSCPマスタープラン(全体概要)

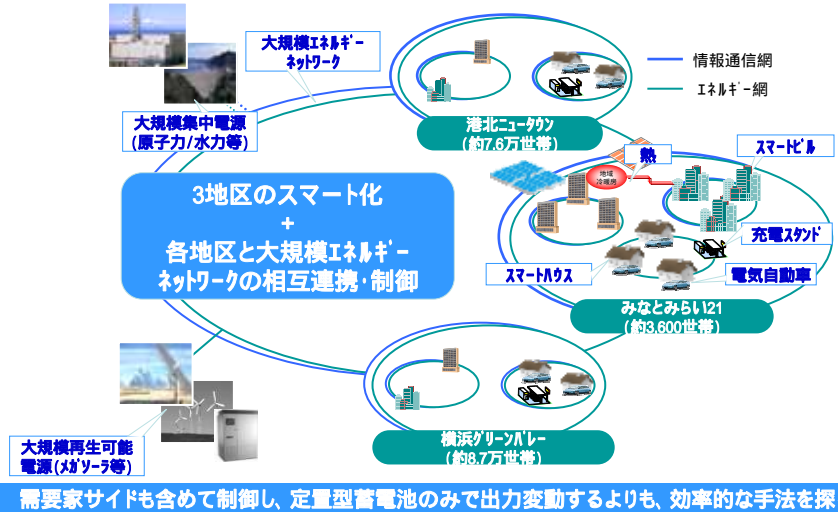


<b>事業主体</b>	横浜市、アクセンチュア、東京ガス、東京電力、東芝、日産、パナソニック、明電舎 等
<b>対象地域</b>	みなとみらい21地区、港北ニュータウン地区、横浜グリーンバレー地区(金沢区)等
<b>対象地域の規模</b>	人口:約42万人(約17万世帯) / 面積:約60km <sup>2</sup>

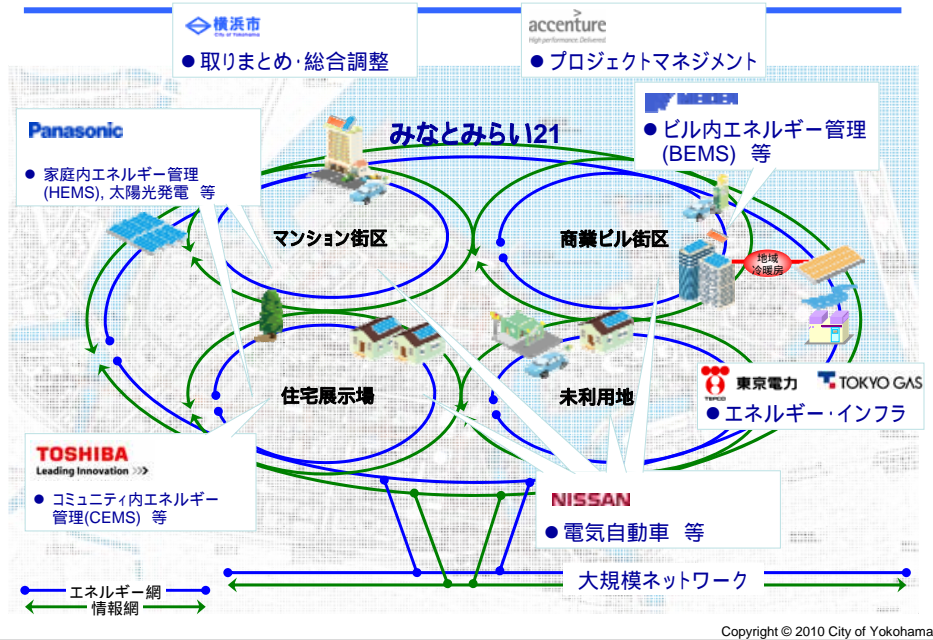
## 地域エネルギーマネジメントシステム(CEMS)



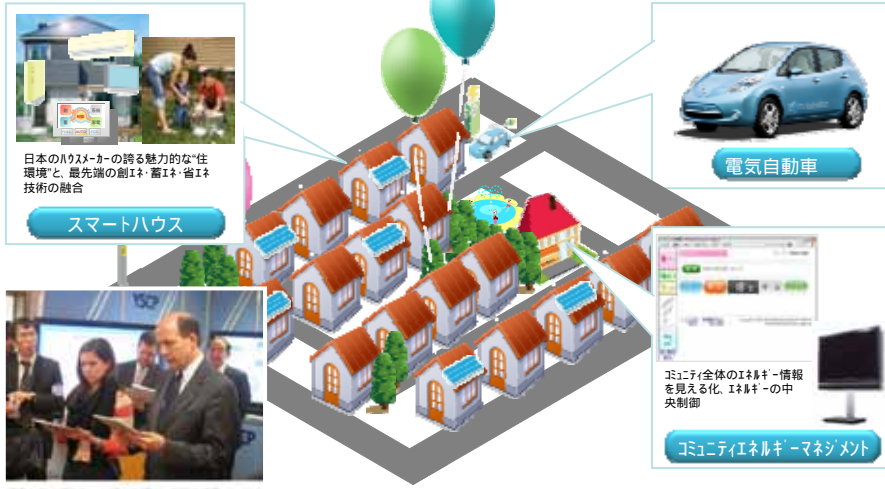
定置型蓄電池と地域内に集中導入された一般世帯向けエネルギーマネジメントシステム(HEMS)や事業者向けエネルギーマネジメントシステム(BEMS)と連携し、地域内で集中導入された再生可能エネルギーの出力変動を吸収する。



## みなとみらい21地区: 環境技術のショーケース

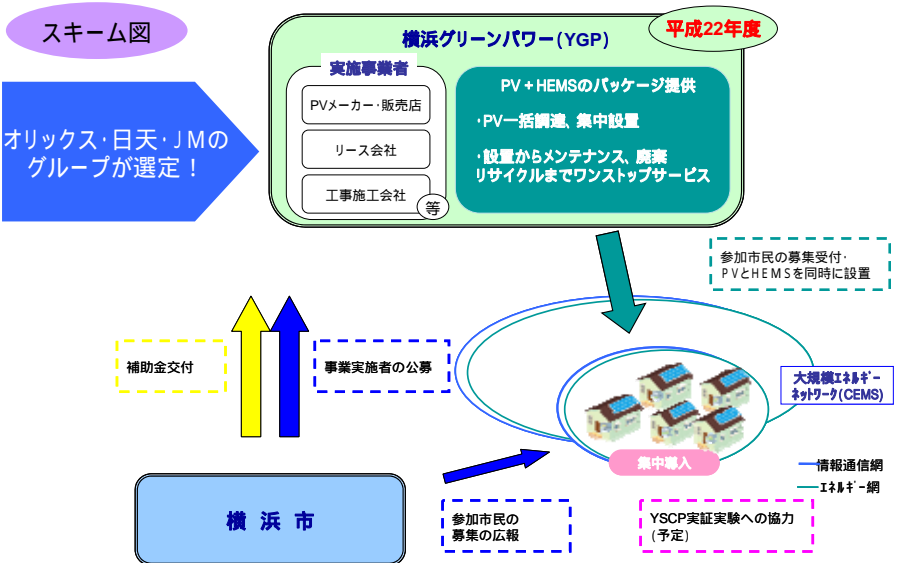


# 住宅展示場プロジェクト



魅力的な住環境 × 先端の低炭素化技術 = スマートコミュニティ展示場

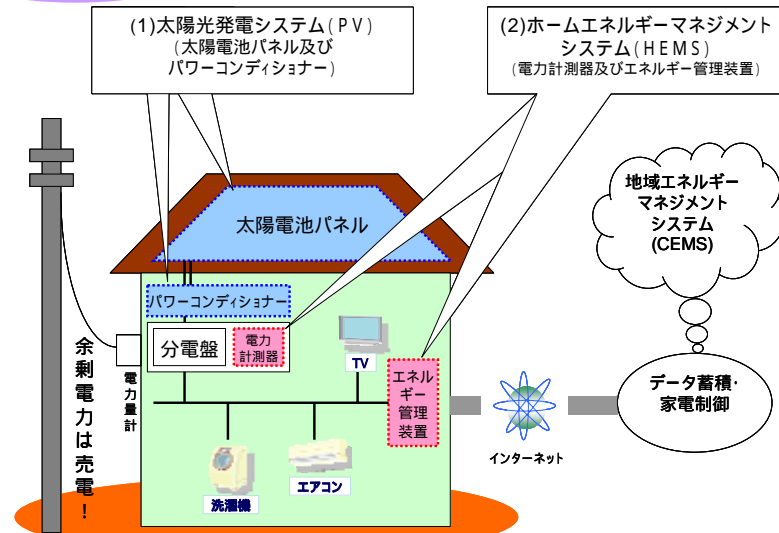
# 港北ニュータウン地区：横浜グリーンパワーモデル事業



## YGPによるシステム導入イメージ



### 導入イメージ



## 横浜グリーンバレー地区



快適なエコ・ライフを実現する。  
新しい環境ビジネスが開花する。  
環境と生きる子どもたちを育成する。  
そんなプロジェクト、金沢区からはじめます。

### 横浜グリーンバレー構想とは

横浜グリーンバレー構想とは、横浜臨海部をモデルとして、市民の皆様と協働しながら「環境」を切り口とした産業の育成と環境教育の充実に取り組み、温室効果ガスの削減と経済活性化を飛躍的に進める構想です。

将来的には、本構想にて実践した取組を全市的に展開することで、横浜市が日本の低炭素型環境モデル都市として名実ともに認知されることを目指します。

**Yokohama Green Valley**

### モデル地区の金沢区

横浜市の中でも、住宅団地・産業団地・公共施設や緑・海など「横浜」の全ての要素がコンパクトに集まっている「金沢区」から取組に着手します。



## エネルギーモニタリングの取組(家庭用)



### 【省エネナビを利用した一般家庭におけるエネルギーモニタリング事業】

#### 省エネナビを用いたエネルギーモニタリング

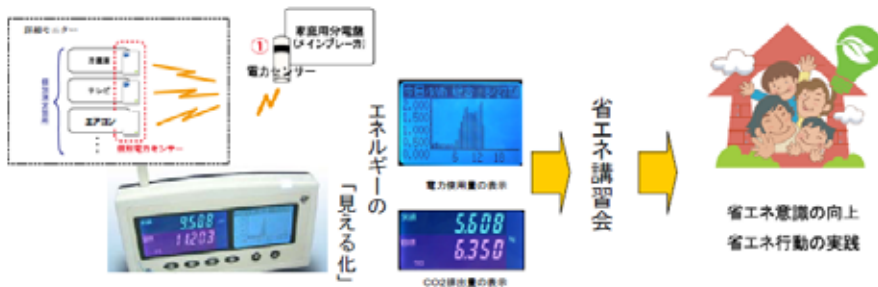
並木シーサイドタウンのご家庭を中心とした81世帯  
 電力の使用データを30～60秒に一回、宅内にある表示器に送信し、表示・蓄積  
 詳細モニター 81世帯のうち、20世帯  
 冷蔵庫やエアコンなどの機器ごとの電力使用量(3箇所)やガス使用量も計測

#### 省エネルギー意識調査アンケート

開始時・省エネ講習時・完了時の3回アンケートによる意識調査  
 省エネ意識の高揚・変化について集計・分析

#### 省エネルギー講習会

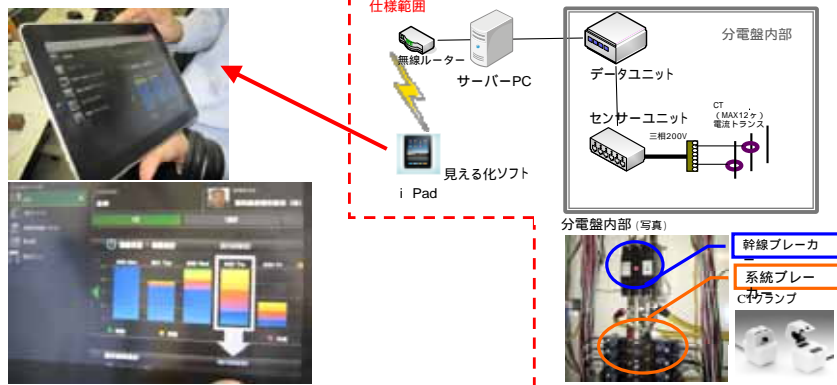
講習会開催により、日常的な省エネルギーのポイントや省エネナビの活用方法についてご案内



## エネルギーモニタリングの取組(事業所用)



### 地元企業の環境関連製品の紹介と 横浜グリーンバレー事業での採用



## 太陽熱利用給湯システムの実証



### 官民連携の再生可能エネルギー導入と普及啓発

#### ディスプレイによる「見える化」システム

太陽熱利用量と給湯利用量をリアルタイムで測定し、太陽熱利用率やCO<sub>2</sub>削減量に換算して大型ディスプレイに表示しています。また、太陽熱利用量を身近に感じていただくために、一般的なお風呂張りに換算して表示しています。「見える化」システムはエントランスに設置され、長浜公園から見える太陽熱集熱器とともに利用者の方々へエコな取り組みをご紹介、PRしています。



#### 導入効果

(2010年2月から2010年6月までの実績)  
導入効果は給湯に関する値です。



## 環境と地域経済活性化の好循環に向けて

